

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 愛知教育大学（※正式名称を記載）

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫※注 1

☐ 中学校 ☐ 中高一貫※注 2 ☐ 高等学校

☒ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他（例：小中高一貫 _____）

※注 1 義務教育学校を含む ※注 2 中等教育学校を含む

所在地 〒448-8542

愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1 番地

E-mail chiiki@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

Website http://www.aichi-edu.ac.jp

幼児児童生徒数 男子 1898 名 女子 2302 名 合計 4200 名

幼児・児童・生徒の年齢 18 歳 ～ _____ 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

（1）活動の概要（800 字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

本学は、平成 24 年 1 月にユネスコスクール支援大学間ネットワーク（ASPUUnivNet）に加盟し、以降、愛知県内の学校のユネスコスクール加盟申請及び加盟校の活動に係る支援を実施している。

また、大学としても、ユネスコスクールとして、エコキャンパスの展開、科学・ものづくり教育の推進、国際交流活動等の実施により、ユネスコの推進する ESD に関わる活動を推進している。具体的には、主に①ユネスコスクール支援に係わる活動、②環境に係わる活動、③エネルギーに係わる活動、④国際理解に係わる活動を行った。

① ユネスコスクール支援に係わる活動

ASPUUnivNet 加盟大学として、日本／ユネスコパートナーシップ事業による、講演やユネスコスクール加盟校による実践活動報告や情報交換を通して、県内のユネスコスクールの交流を図り、学校間のネットワーク作りを支援するとともに、未加盟の学校に対しては、ESD 活動の取組へのきっかけとなること、また活動推進の支援となることを目的とした「愛知県ユネスコスクー

ル指導者研修会」を開催した。今年度の研修会は、県内外のユネスコスクール先進校（小学校・中学校・高等学校）による実践発表を行った。ユネスコスクール加盟校に対しては交流の場として有意義な会となったと考える。

また、本学が位置する刈谷市内の唯一のユネスコスクールに認定されている小学校に留学生が出向き、小学5年生のクラスでグローバル人材を活かしたESD推進活動の一環として、自国の文化などを紹介する授業を行った。

② 環境に係わる活動

7月に「キャンパスクリーンデー」を実施した。全学教職員、学生が約110人参加し、キャンパスの環境美化活動を行った。

また年2回本学職員及び学生で、大学構内8カ所の花壇へのパンジー等の植栽や草取りなどを行う「花プロジェクト」を行った。5月には約50人、3月には約30人が参加した。

③ エネルギーに係わる活動

省エネに関する豆知識や本学におけるCO₂排出量の現況などを記載した「省エネニュース」を教職員や学生が目にしやすいトイレに掲示するなど啓発活動の各種取り組みを実施した。

④ 国際理解に係わる活動

将来教員やその関係の職に就く本学の学生が、その国の文化・社会・教育に関心を持ち、現地での学生間の交流、また、学校の視察や日本文化の紹介などを行い、国際的な視野を持つことを目的としたプログラムである、「海外短期学生交流（ショートビジット）プログラム」を実施した。また、学内で国際交流ボランティアの学生が主体となり「インターナショナルカフェ（留学生と学生がお互いの文化を紹介し、交流するプログラム）」等を開催するなど、協定校をはじめとした留学生との各種交流を通して、本学学生の国際理解を深めた。



①ユネスコスクール支援に係わる活動(指導者研修会)



②環境に係わる活動(花プロジェクト)



③エネルギーに係わる活動(トイレ掲示)



④国際理解に係わる活動(インターナショナルカフェ)

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

■ 1. 環境	■ 2. エネルギー	□ 3. 防災	□ 4. 生物多様性
□ 5. 気候変動	■ 6. 国際理解、文化多様性	□ 7. 地域の伝統文化、文化遺産	□ 8. 人権・平和
□ 9. 健康・福祉	□ 10. 食育	□ 11. 持続可能な生産と消費	□ 12. 貧困
□ 13. エコパーク	□ 14. ジオパーク	□ 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
□ 16. ジェンダー平等	□ 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input checked="" type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

ユネスコスクールであるとともに教員養成大学である本学にとって、教育におけるアクティブラーニングの積極的な導入は重要課題でもあり、本学の中期計画でも開講授業において積極的に実施することを目指しており、授業におけるアクティブラーニングについてFD開催も含め、教員に周知を図り、指導方法の工夫改善に努めている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

地域連携センターを活動の核とし、本学の7名のユネスコスクール支援担当教員と地域連携センター担当事務局とで連携を取り、組織的に活動を進めている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

本学では、ユネスコスクール支援を積極的に進めることを、中期計画、年度計画にも位置づけており、自己評価を実施するとともに、国立大学法人評価委員会の評価も受けている。また加盟しているASPUivNetでの連絡会議においてもユネスコスクール支援に関する事業報告を実施している。今後も継続して、本学のユネスコスクール支援並びにESD活動を推進することが求められている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

本学 HP や愛知県教育委員会主催の「愛知県ユネスコスクール支援会議」において「愛知県ユネスコスクール指導者研修会」の開催についての公表、ASPUivNet パンフレットで本学の活動成果の公表により、本学の ESD 推進拠点としての成果を発信した。また本学 HP により、年度計画において「ユネスコスクール支援、アクティブラーニング推進」について発信している。今年度本学開催の「愛知県ユネスコスクール指導者研修会」では参加者が増加し、効果が得られたものと考えられる。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

中部大学が代表機関となっている ESD コンソーシアム愛知に本学も加盟しており、連絡会議並びにユネスコスクール交流会に参加した。

やはり中部大学が基幹大学として実施した「東海地区ユネスコスクールフォーラム」に主催大学の一つとして参画し、東海地区の大学並びにユネスコスクールと交流を図ることができた。

愛知県教育委員会が推進しているユネスコスクール支援に対し、支援会議並びに愛知県ユネスコスクール交流会に参加し、連携を図った。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

⑥でも記載した「東海地区ユネスコスクールフォーラム」には、ユネスコスクールである三重大学も参加しており、中部大学、静岡大学、岐阜大学とともに東海地区のネットワーク形成に努めた。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

① ユネスコスクール支援に関わる活動

「愛知県ユネスコスクール指導者研修会」を開催し、各校種による分科会での県内県外のユネスコスクールの実践発表や意見交流を通じ、ネットワーク形成や活動推進への支援となることを目指す。

愛知県でのユネスコスクール申請支援を希望する学校へは、適宜組織的に支援を実施する。

② 環境に関わる活動

「キャンパスクリーンデー」や「花プロジェクト」を展開し、キャンパスの環境美化活動を行う。

③ 国際理解に関わる活動

「海外短期学生交流（ショートビジット）プログラム」及び「インターナショナルカフェ」を開催する。